

町への要望と回答

各常任委員会では、25年度に行った所管事務調査の結果を基に町政への要望事項をまとめ、町長に提出しました。その後、要望事項に対し町から回答を得ましたので、主なものを抜粋してお知らせします。(回答は1月31日付けです。)

総務

要望 派遣職員に対する心のケアと生活環境への配慮を。

回答 臨床心理士の個人面談やセミナーの開催、メンタルヘルス研修会への参加要請や、定期的な帰省の制度の活用を今後も奨励していく。

要望 復興に係る住民への助成制度の期限を延長するよう関係機関へ働き掛けてほしい。

回答 今後も関係機関に働き掛ける。

要望 山田地区の区画整理事業を、関係機関と協議し計画どおり進めてほしい。

回答 業務委託契約を締結したUR都市再生機構、事業を請け負う山田町震災復興共同企業体と連携し、事業推進に努める。

要望 町税の減免措置による不足分の補填期間の延長、被災商業者に対する新たな課税免除制度の創設について要望してほしい。

回答 沿岸市町村、県の税制担当部署と情報の共有を図りながら関係機関に働き掛けていく。

要望 復興事業に合わせて十分な消火栓の設置に努めてほしい。

回答 関係課等と協議を進め、消火力の基準に基づいた耐震性貯蓄槽と消火栓を設置していく。

教育民生

要望 医療費減免について、国からの支援を要望してほしい。

回答 今後も継続して要望していきたい。

要望 今後も被災者の心のケア活動に努めてほしい。

回答 今後も訪問での健康相談や栄養相談、集会所での健康教室を実施する。必要に応じて宮古地域こころのケアセンター等の関係機関と連携しながら支援したい。

要望 学校給食は親を亡くした子の心のケアにもつながるため、導入の検討を。

回答 復興を早めるため、給食センターの建設費用等を復興事業に充て、学校給食事業を凍結している。今後の復興の状況等を見ながら再開の時期を検討する。

要望 鯨と海の科学館の今後の方針を検討してほしい。

回答 現在は震災で休館しているが、復旧後のリニューアルオープンに向け、PRの方法や誘客の仕方などに工夫をこらしながら運営していくよう努める。

産業建設

要望 放射性物質に汚染されたほだ木と落葉層を早期に除去し、シイタケ生産の早期再開に向け取り組んでほしい。

回答 ほだ木の処理は実施中であり、なるべく早くシイタケの出荷制限解除ができるよう県と共に取り組む。

要望 グループ補助等について積極的な情報提供、活用の呼び掛けを行い、事業の早期再生に向けて取り組んでほしい。

回答 国、県、商工会と共に情報提供し、活用を呼び掛けていく。

要望 高台住宅団地への移転や災害公営住宅入居の意向を正確に把握し、事業を進めてほしい。

回答 被災した世帯を対象とした意向調査(実施中)に基づいて事業を進める。

要望 各種復興事業と連携しながら早期に上下水道を整備してほしい。

回答 関連する事業との連携を図りながら、速やかな整備に努める。

要望 高台住宅団地や移転促進区域の用地買収を早急に進めてほしい。

回答 事業に対する地権者の理解を得ながら、早期に取得できるよう努めていく。